

連載第3回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに

平成28年度中の全校実施を目指して

中学校昼食の充実へ、前進！

横浜市の中学 させて頂きます。

校昼食の問題に ついて、保護者 の皆さまより「共 働きで子どもの 弁当作りが大変」 など多くの切実 なお声を受け、 公明党横浜市議 団として長年取 り組んで参りま したが、今回は、 解決に向けて大 きく前進してい ることをご報告

温かく、栄養バランス に優れた弁当を食べら れるようになります。

Q:どのようになりま したか。
A:「横浜型配達弁当 (仮称)」を来年度中に 全市立中学校で実施す ることとなりました。

Q:小学校や、他の自 治体と同様に給食の 実現を求める声もあ りますが。

これまで通りの家庭弁 当か配達弁当のいずれ かを選択できるように なります。支援が必要 な世帯等に対しても配 慮し、いままでも様々な 事情で弁当を持参でき なかった生徒たちも、

A:そのようなお声が あることも承知してお ります。一方で、アン ケート調査の結果で は、これまで通りの家 庭弁当を望む方も一定 割合おられます。食の安 全への関心の高まりを



横浜市会議員 たけのうち猛

〈プロフィール〉

昭和49年、大分県大分市生まれ。米國・ワイオミング大学大学院・公共政策学修士課程修了。金沢区在住。平成27年4月、横浜市会議員に初当選。公明党公認、建築・都市整備・道路委員会。減災対策推進特別委員会。

＜ご相談・ご連絡先＞

公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

反映しているのかも知れませんが、また今回の配達弁当方式でも、保温コンテナや、学校での一時保管場所の確保などに30億円の施設整備費を見込んでおりますが、これが給食方式ですと、各校内に調理施設を設置するのに260億円かかり、それも半数以上の中学校では土地の確保など、施設の設定自体が困難です。配達弁当は、他の方法と比べて施設整備費を大幅に抑えることができ、何より早期の全校展開が可能です。「いま、困っている」保護者や生徒の皆さまの思いにお応えできるということ、これが肝心な点だと考えています。